



◆ 総合外科 胃がん・食道がん

- ◆ 看護部「手術前から退院後までのケアを担当し手術後の生活をサポートします」
- ◆ リハビリテーション科「手術後の回復をリハビリテーションでサポートします」
- ◆ 栄養科「手術後の回復を栄養療法でサポートします」
- ◆ がん相談支援センター「患者さんの悩みや不安について一緒に考え伴走します」
- ◆ 病院からのお知らせ



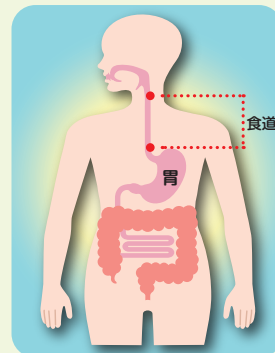


近年、日本ではがんの罹患数と死亡数が増加傾向にあり、日本人の死因の第1位を占めています。がんは今や多くの人にとって身近な病気になっています。
今回はその中でも胃がん・食道がんについて、総合外科の錦織達人先生に聞きました！！

胃がん・食道がんとはどのような病気ですか？

胃がんは、胃の内側を覆う粘膜にできる悪性の腫瘍です。初期のうちは自覚症状がほとんどありません。進行すると、食欲不振、胃の痛み、吐き気、体重減少などがみられることがあります。

食道がんは、口から入った食べ物が通る食道にできる悪性の腫瘍です。喫煙や飲酒が大きな原因とされます。症状としては、食べ物がつかえる感じや飲み込みにくさ、胸や背中での痛み、体重減少などがあります。



胃がん・食道がんの診断方法について教えてください

診断の流れ

検査・診察

内視鏡検査(胃カメラ)を行います



病理検査(生検)

組織の一部を採取し、がん細胞の有無を確認します



検査・診察

CT検査・PET検査でがんの広がり(転移)を確認します



ステージ判定

これらの検査結果を元にステージを確定します



胃がん・食道がんの治療について教えてください

胃がん・食道がんのステージと治療法の概要

ステージ

1期

2期

3期

4期

治療

内視鏡治療

いわゆる「胃カメラ」を使った治療です。



手術

手術前後に抗がん剤を使用することもあります。



抗がん剤治療

食道がんでは放射線治療を実施することもあります。



早く発見することで、体に負担が少ない治療を行うことができます。定期検診の利用や自覚症状がある際は**早めに受診**しましょう！



YouTubeでも解説しておりますので、是非、ご覧ください！

 YouTube

動画はこちら→

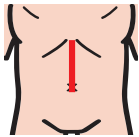


※大まかに記載していますので、実際は若干異なる箇所もあります。

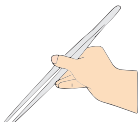
胃がん・食道がんの手術について教えてください

がんと周囲のリンパ節を切除し、食べ物の通り道を作り直します。主な手術方法として、大きく傷を開ける開腹・開胸手術、小さな傷で行う腹腔鏡・胸腔鏡手術やロボット支援手術があります。ロボット支援手術では道具を指のように動かすことができ、精密な手術が可能です。

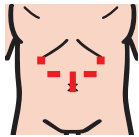
開腹・開胸手術



肉眼で長い道具を操作



腹腔鏡・胸腔鏡手術



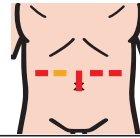
カメラを体の中に入れて細かい組織を拡大し直線的な器具で手術操作



ロボット支援手術

最新機種

【ダヴィンチ Xi】

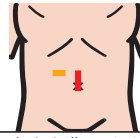


4つの傷口から器具を入れ助手がオレンジの印の傷からアシスト

カメラは曲がらないが器具を指のように動かすことができる



【ダヴィンチ SP】



1つの小さな傷口から器具を入れ助手がオレンジで示した傷口からアシスト

カメラも曲がり、体の中で器具が広がって1つの傷から手術ができる



★京都市立病院にはダヴィンチXiと京都府内唯一の最新のダヴィンチSPが入っています！

ロボット支援手術については、やすらぎ 2024 年 2 月号に詳しく掲載されていますのでコードから是非、ご覧ください！



手術の後は普通の暮らしや生活はできますか？

食道や胃の手術の後には、食事量が減って、栄養状態が悪くなることがあります。また、手術前から栄養の状態が悪い患者さんは手術後の経過が良くないことも分かってきています。がんを治し、手術後も元気に暮らし、趣味を楽しみ、お仕事に復帰できるように、当院では胃・食道がん周術期支援チームをはじめ、様々な職種が協力し、手術前から手術後まで、患者さんをサポートしています。

胃・食道がん周術期支援チーム 〈手術前から手術後まで私たちが治療、サポートします〉



手術だけでなく、患者さんの QOL(生活の質)、栄養に関心をもち、安全で安心な医療を心がけ、診療と研究、後進の指導を行っています。患者さんの良くなったお姿を拝見することを楽しみにしています。各専門医の資格を持っておりますので、安心して受診ください。



総合外科
錦織 達人
内視鏡外科技術認定医(胃)
ロボット食道切除プロクター
食道外科専門医

手術前から退院後までのケアを担当 し手術後の生活をサポートします



看護師
飴田 千賀子

看護師
野村 萌々香

手術をすることが決まったら、入院前から準備を始めます。手術前から退院後の生活を見据えながら一緒に目標を決め、患者さん自身が主体的に取り組めるようサポートさせていただきます。

① 外来から入院まで継続したサポート

治療の選択について患者さんの思いを聴き、手術後の生活のイメージや安心して手術を受けていただくことができるよう手術前から支援させていただきます。

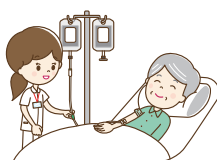
仕事や趣味、自宅環境、経済面など、手術前～退院後までの不安や心配事に寄り添いサポートします。

※当院には専門的な知識を持った専門看護師・認定看護師・入退院支援看護師が在籍しています。



② 手術後の痛みについて

手術後から点滴で痛み止めを使用します。それでも痛みが続くときは、他の薬も使用しますので、医師や看護師に遠慮なくお伝えください。



③ 手術翌日からの歩行訓練

手術後早期にリハビリ開始をすることで手術後合併症を予防します。一緒に頑張りましょう!

※詳しくは理学療法士ページを参照してください。



④ お食事について

★ 食事方法の説明・指導

手術後は胃が小さくなるため食べ方に工夫が必要です。自宅でも工夫して食べることが継続できるように一緒に考えます。

※詳しくは栄養科のページを参照してください。



★ 食事以外の栄養補給

食道がんの手術後しばらくは今までのように食事を摂ることができないため、お腹から腸に穴をあけ細い管(腸ろう)を入れます。

自宅でも食事量や体重が安定するまでは、足りない栄養を腸ろうから補えるように、入院中に使い方を一緒に練習します。



⑤ 生活指導

※パンフレットをお渡しして説明します

手術前後の体力づくりのために毎日の体重測定や運動習慣について指導します。



⑥ 退院に向けた支援

病棟と外来看護師が連携し継続したフォロー体制を取っています。

病棟では受け持ち看護師以外に、地域包括センターへの相談や医療福祉サービス使用の提案などを行う入退院支援看護師がサポートします。



⑦ 退院後外来での継続した支援

外来看護師が退院後の自宅での様子をお聞きします。

患者さんが安心して在宅療養生活を送れるよう、様々な医療サービスの調整を行ったり、地域の支援者とも連携させていただきます。



手術後の回復をリハビリ テーションでサポートします

理学療法士によるリハビリ



理学療法士 岡田あゆみ

～患者さんが目標とする手術後の回復や社会復帰をサポートします!～

術前

呼吸練習

術後の肺炎予防のため
術前から練習します。

各10回
1日3セット



チャレンジボールを
使った息を吸う練習



ティッシュペーパーを使った息をはく練習



手をあてて
腹圧を上げる



咳払い

筋力トレーニング

筋肉量の低下は術後合併症の
発生や長期生存率の悪化と関連
することが報告されています。

5秒キープ10回
1日3セット



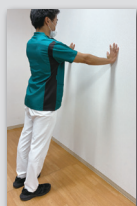
スクワット



ランジ



足を広げる



腕立て伏せ



プランク



持久力トレーニング

手術に備えて体力を上げます。
ウォーキングや自転車漕ぎを
「ややきつい」と感じるくらいで実施
します。

目標 1回30分
週3回以上



術後

手術翌日から離床を行い日常生活動作の
再獲得や排痰を促します。

痛みに応じて筋力トレーニングや持久力
トレーニングを開始します。



注意点

患者さんに合わせて理学療
法士が適度な負荷の運動を決
定します。
肺や心臓に病気があの方は主
治医に相談しましょう。



言語聴覚士によるリハビリ

手術後もおいしくご飯を食べられるようにサポートします!

がんや手術で飲みこみに関する神経や筋肉が働きにくくなり、ムセや飲みこみづらさが
生じることがあります。嚥下^{えんげ}訓練は基礎訓練(食べ物は使わない訓練)と摂食訓練(実際に
ものを食べる訓練)の2つがあります。基礎訓練は舌やのどの筋力トレーニングをします。

摂食訓練は食べ方の工夫(顎を引く・水分と交互に食べる)や食べ物の調整(とろみ
をつける・やわらかくする)をします。



言語聴覚士 佐藤 玲

手術後の回復を 栄養療法でサポートします



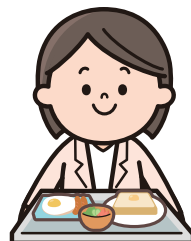
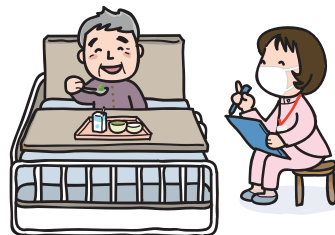
1 なぜ「栄養」が大切?

手術は体に大きな負担がかかります。

手術の前に栄養不足や筋肉量の低下があると、「傷の治りが遅くなる」「手術後の合併症が起こりやすくなる」ことが報告されています。

また、手術後は、食べられる量が減ってしまい体力が回復するまでに時間がかかってしまうことがあります。

そのような時に「栄養」の力が欠かせません。



2 手術の「前」と「後」の 栄養療法

手術前 手術に向けた身体づくり

- ・体重や筋肉量のチェック
- ・食事摂取量のチェック
- ・栄養補助食品などによる対策

◆栄養とリハビリを組み合わせ
最も良い状態で手術を迎えること
ができるようなサポート体制を整
備しています。



手術後 社会復帰に向けた身体づくり

- ・少量ずつ回数を分けて食べる「分割食」
- ・ゆっくりよく噛んで食べる指導
- ・不足している栄養を補うための
栄養補助食品の利用

◆手術後もリハビリとの相乗
効果で早い回復を目指します。



3 がん患者さんの食事や 栄養の悩みを一緒に解決

- ・食欲がない
- ・吐き気がする
- ・味が分からない
- ・飲みこみづらい
- ・痩せてきた
- ・すぐにお腹がいっぱい
になる
- ・栄養が足りていない
- ・何を食べたら良いか分からない



『がん患者さんとご家族のための食事のヒント』

といった冊子を作成し活用して
いただいています。



くわしくはこちら



♥がん患者さんをサポートします!

抗がん剤や放射線治療中、
手術前、手術後、その後の
外来まで長期間に渡り
サポートします。無理の
ない解決方法を一緒に考え
ていきましょう。



管理栄養士
周術期・救急集中治療専門療法士
望月 貴子



患者さんの悩みや不安について 一緒に考え伴走します

がん相談支援センターでは、がんに関する信頼できる情報をわかりやすく伝え、安心して治療や生活を続けられるようお手伝いしています。療養やお仕事、外見(アピランス)など、日々の暮らし全体を支えることを大切にしています。

医師や治療スタッフだけでなく、「胃・食道がん周術期支援チーム」をはじめ、経験豊富ながん専門相談員が、治療の選択や治療に伴う身体や生活の変化について、患者さんと一緒に考えながら伴走し、サポートしています。

医師からの紹介がなくてもご相談いただけますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



がん医療連携推進担当課長
松村 優子

胃がんや食道がんでは、病気や手術の影響でお仕事を休まざるを得ないことがあります。

このようなお悩みはありませんか？

仕事は続けられるの？

ウィッグがほしい

介護や療養のことが心配

医療費の制度について知りたい



がん相談

手術の前後や抗がん剤・放射線治療によって、髪が抜けたり、肌の色や質感が変わったりすることがあります。こうした外見の変化は、見た目の問題にとどまらず、「自分らしさ」が揺らぐつらさや、誰にも言えない孤独感につながることもあります。



がん相談室

外観ケア

センターでは、ウィッグや帽子などのケア用品を実際に見て触れられることができます。

さらに、同じ経験を持つ方や、医療スタッフと交流できる患者会(サロン)も開催しています。



外観ケア相談室

国立がん研究センターより「認定がん相談支援センター」として指定を受けました。

令和6年12月に、当センターは国立がん研究センターより「認定がん相談支援センター」として指定を受けました。

京都では初めての認定施設です。これからも、質の高い相談支援を続けてまいります。



京都市立病院創立60年記念 ～南観音山保存会様が祇園囃子を特別演奏！～

令和7年8月3日(日)に創立60年記念の企画として、南観音山保存会の囃子方の皆様による祇園囃子の特別演奏を院内で開催！

当日は、100名を超える患者さんやご家族の皆さんに参加いただき、会場は大いに賑わいました。



みてみて！京都アピアランスケア展のお知らせ

この度、厚生労働省「アピアランス支援モデル事業」の一環で、「みてみて！京都アピアランスケア展」を開催。がん治療に伴う外見の変化に対応するウィッグや帽子、補正下着、スキンケア・ネイルケア用品、就労支援などの展示や相談コーナーに加え、患者会や医療者等との交流体験もできます。是非、ご参加ください。

- 日程：令和7年11月3日(月・祝)
午後1時～午後4時(時間内出入り自由)
- 会場：京都産業会館 2階(中・南室)
- 参加費：無料
- 対象：がん患者さん及びそのご家族、支援者、アピアランスケアに関心のある市民の方



令和7年度 京都市立病院 第5回ミニ市民公開講座開催のご案内

ミニ市民公開講座を下記のスケジュールで開催しています。講演終了後に質疑応答の時間もありますので、日ごろの体調について気になっていることなどがある方は、ぜひお越しください。

《テーマ》

「婦人科がんと子宮頸がんワクチンの話」

令和7年12月13日(土)



第5回講演医師
山本 拓郎

- ▶会場：京都経済センター(地下鉄『四条駅』すぐ)
京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
- ▶時間：10:30～11:30
- ▶申込不要(先着70名)
- ▶参加無料

※過去の講演は公式YouTubeチャンネルにて順次公開予定です。

<https://www.youtube.com/@KCHorg1>



- 第1回 令和7年4月12日(土) 「アイフレイル～眼の健康寿命を延ばそう～Part2. 緑内障について知ろう！」
- 第2回 令和7年6月14日(土) 「他人事ではない不整脈」
- 第3回 令和7年8月9日(土) 「肝臓・胆道(胆のう)・膵臓の手術が必要な時のために…最新手術でもうこわくない？」
- 第4回 令和7年10月11日(土) 「本当はこわい高血圧」
- 第5回 令和7年12月13日(土) 「婦人科がんと子宮頸がんワクチンの話」
- 第6回 令和8年2月14日(土) 「動脈硬化は万病のもと」



京都市立病院 無料送迎バス

ぜひお気軽にご利用ください

時間	京都市立病院 ～出発～			阪急西院駅前 (2階100円ショップ/1階スーパーの前付近)			京都市立病院 ～到着～		
8時			40			45			55
9時	00	20	40	05	25	45	15	35	55
10時	00	20	40	05	25	45	15	35	55
11時	00	20	40	05	25	45	15	35	55
12時	00	20	40	05	25	45	15	35	55
13時	00	20	40	05	25	45	15	35	55
14時	00	20	40	05	25	45	15	35	55
15時	00	20	40	05	25	45	15	35	55
16時	00	20	40	05	25	45	15	35	55

(土日祝日、年末年始等の休診日は運休)



ご意見募集中！

最後までお読みいただきありがとうございました。当院では、「やすらぎ」に関するご意見を当院ホームページで募集中。右のコードを読み取りのうえ、ご意見・ご感想等を記入し送信してください。いただいたご意見は、今後の紙面の充実の参考とさせていただきます。



やすらぎ 2025・10月号 令和7年9月25日発行

発行：京都市立病院機構 京都市立病院
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の2
TEL 075-311-5311
FAX 075-321-6025

